

総務 常任委員会

SNSで白河の魅力を発信し、二地域居住や移住を促進

令和3年度一般会計予算のほか、議案15件が付託されました

● 議案第6号 白河市特別会計条例の一部を改正する条例

Q | 国有林野払受費特別会計及び教育財産特別会計の廃止後の山林等の管理方法について

A | この特別会計が廃止されても、従来の担当課でそれぞれ管理し、令和3年度からは一般会計で事業管理していくこととなる。

● 議案第33号 令和2年度白河市一般会計補正予算（第10号）

Q | 歳入に係るたばこ税1,341万円の増額補正について

A | 近年、たばこ離れが進み、売渡本数は年々減少傾向にあるため、その傾向は更に進むと想定し、税収を低く見込んだところ、減少幅が見込みより少なかったため、結果として増額補正となったものである。

● 議案第19号 令和3年度白河市一般会計予算

Q | 女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業の内容について

A | 複合施設に導入する官民連携事業を検討するにあたっての実証実験として、女性に寄り添った仕事と子育ての両立を支援するため、子育てのブランクにより就職に不安がある女性などを対象としたワークショップやセミナー、女性の就労に関する企業ニーズ調査等の実施を予定している。その実証実験の結果を踏まえ、例えば、子連れ相談ができる民間型ハローワークのようなサービスの導入について、関係機関と連携を図りながら、どういう機能を取り入れるべきか検討していきたい。

Q | 市税の固定資産税2億9,415万3千円の減額について

A | 令和3年度は、令和2年2月から10月までの任意の3カ月間の売上高が、前年と比べて50%減少するなどの条件により、償却資産及び事業用家屋に係る固定資産税の軽減措置があり、その分も含めて減額となっている。なお、その軽減措置分については、国から地方特例交付金により全額措置される。

Q | しらかわ移住魅力発信事業について、どのようにして白河の魅力を発信していくのか。

A | コロナ禍により二地域居住や移住希望者が増加する傾向にあることから、白河の魅力を発信する方法として、インフルエンサーが実際に本市に居住し、地域との交流や日々の暮らしの様子などリアルな情報をYouTube等で発信していく。



移住定住ガイドブック

付託された議案は、いずれも原案のとおり承認及び可決しました。

市民産業 常任委員会

除去土壌は令和3年末に中間貯蔵施設に全て搬出完了予定

白河市霊園維持管理基金条例のほか、議案10件が付託されました

● 議案第7号 白河市霊園維持管理基金条例

Q | 3地域の霊園の維持管理基金を統一するにあたり、これまで各霊園において所有していた基金の利活用について

A | 各霊園における統合前の基金の有無や残高に関わらず、統合後も地域ごとの霊園事情に鑑み、適切な維持管理に使用していきたい。

● 議案第19号 令和3年度白河市一般会計予算

Q | 現在の白河市農産物ブランドの商品数と成果、今後の具体的取り組みについて



白河市農産物
ブランド

A | 現在31品目を認証しているが、販路拡大等における課題が見えてきたため、令和2年度にブランド方針の見直しを行った。令和3年度からは新たな認証制度によりリーディングブランドの選定、パッケージデザインの見直しといった、商品の磨き上げ等販路拡大に向けた支援を行い、白河ブランド全体の底上げを図っていく。

Q | 仮置き場の現状と復旧状況、今後の利用計画について

A | 除去土壌は令和3年2月末現在、白河地域の仮置き場に約7万8千袋が残っているが、令和3年末に中間貯蔵施設に全て搬出を完了する予定となっている。また、東、表郷地域の仮置き場は現状復旧が完了し、大信地域は半分が令和2年度に現状復旧が完了し、令和3年度には残りの半分も完了見込みである。今後とも環境省と連携し事業を進め、仮置き場の今後の利活用については市全体で検討していきたい。



大信地域仮置き場搬出完了

● 議案第33号 令和2年度白河市一般会計補正予算（第10号）

Q | 新型コロナウイルス感染症対策協力金が当初見込み額より確定額が大きく減少した要因は

A | 予算の事業所数774件は、対象事業者の最大数を見込んだことから減額することとなった。

● 議案第44号 令和3年度白河市一般会計補正予算（第1号）

Q | 第2弾消費喚起クーポンの対象店舗以外に拡充するなど、第3弾に違いはあるのか。

A | 第2弾と同様、飲食店、小売業、サービス業を対象に参加店舗を募集するとともに、一世帯につき5千円の割引クーポン券を配布し、消費喚起を図ってきたい。



付託された議案は、いずれも原案のとおり承認及び可決しました。

教育福祉 常任委員会

移動販売車を追加購入し、市内全域で高齢者の見守りを兼ねた移動販売を実施

白河第二中学校建設事業電気設備工事請負契約の一部変更についてのほか、議案19件が付託されました

議案第16号 白河第二中学校建設事業電気設備工事請負契約の一部変更について

Q | 白河第二中学校建設事業電気設備工事請負契約の金額変更について

A | 994万9千円増額の理由について、当初の契約ではGIGAスクール構想に対応する環境設備設計がなかったため、無線アクセスポイントなどの校内ネットワーク整備にかかる費用を追加したものである。



◀移動販売車が市内全域に事業拡大

議案第25号 令和3年度白河市介護保険特別会計予算

Q | 介護特別会計の包括的支援事業・任意事業費、高齢者見守り生活支援事業委託における新年度の内容拡充について

A | 令和3年度は、7月末までに移動販売車を1台追加購入し、事業を拡大する予定である。これにより、移動販売の対象区域がこれまでの旗宿、表郷、大信、東地域から白河地域の市内全域に拡大される。

議案第33号 令和2年度白河市一般会計補正予算（第10号）

Q | 歳出予算で教育振興費、自宅学習用モバイルルーター購入費の減額補正

A | 小学校の自宅学習に使用する保護者貸し出し用のモバイルルーターを当初240台分予算計上したが、希望者が143人であったため不要となった購入費174万1千円を減額するものである。

議案第19号 令和3年度白河市一般会計予算

Q | 歳出予算、事務局学校教育一般管理費、QUテスト活用アドバイザー報償の詳細について

A | 市では、学級での子どもたちの人間関係、満足度を測るQUテストをすべての学校で実施し、学級づくりなどで成果を上げてきた。来年度は年2回QUテストを実施し、専門家である会津大学の対間澤先生の指導助言をいただき、不登校やいじめの防止に努めていきたい。

Q | 歳出予算、子ども家庭総合支援拠点事業について

A | 本事業は、児童虐待の予防や迅速な対応をより効果的に行うため、子育て世代包括支援センターにおいて解決困難な要支援・要保護児童の諸問題を、専門的に調査・訪問・継続的なソーシャルネットワークなど必要な支援業務を行う拠点を設置する事業である。

付託された議案は、いずれも原案のとおり承認及び可決しました。



学校法人熊田学園佐藤慎一様、Lemniskate一級建築士事務所主宰岩橋亜希菜様から施設の説明を受けました。

令和3年4月、西三坂に開園した「認定子ども園らのみな」の現地調査を3月25日に実施しました。

認定子ども園
を現地調査

小峰城城郭復元基金寄附金 寄附者は2月26日現在、875名

市道路線の認定についてのほか、議案11件が付託されました

- **議案第31号** 専決処分の承認を求めることについて【令和2年度白河市水道事業会計補正予算(第3号)】

Q | 2月13日に発生した地震災害の破損箇所について

A | 市内9箇所破損があり、2箇所は東及び久田野配水池側面から漏水、7箇所は給水管からの漏水である。

- **議案第27号** 令和3年度白河市水道事業会計予算

Q | 企業債償還金残高は

A | 令和2年度末企業債未償還残高は48億162万114円で、そのうち元金は42億8,874万9,751円、利息は5億1,287万363円である。

- **議案第30号** 専決処分の承認を求めることについて【令和2年度白河市一般会計補正予算(第9号)】

Q | 石切場市営住宅の被害について

A | 石切場4・5・6号棟で給水管の損傷などがあり、要因としては軟弱地盤による影響が大きいと認識している。

- **議案第33号** 令和2年度白河市一般会計補正予算(第10号)

Q | 社会資本整備総合交付金事業の補助率は

A | 事業の種類により異なり50%及び55%である。



東側丘陵地

Q | 小峰城東側丘陵樹木伐採後の切り株はどのように処理するのか

A | 伐採後の切り株について、根枯らし促進剤を利用し自然に近い形で土にもどす。

- **議案第19号** 令和3年度白河市一般会計予算

Q | 公園の老朽化した遊具の撤去について

A | 都市公園は長寿命化計画に基づき遊具の更新を、農村公園では老朽化し危険な遊具は撤去し、新たにベンチを設置。その他の公園は、遊具すべてを更新するのではなく、利用状況を勘案し検討する。

Q | 白河かるたについて

A | 白河市歴史的風致維持向上計画第2期の初年度の事業であり、実行委員会を組織し、子供たちが白河の歴史を楽しく学べるような「かるた」を作るものである。

付託された議案は、いずれも原案のとおり承認及び可決しました。



成が楽しみです。

工事は第3期の令和5年度まで行われ、現在の校舎を利用しながらの建設であるため、生徒の安全を最優先に施工されています。現在施工中である1期工事は、10月完了予定で、新屋内運動場や一部の新校舎が利用できるようになるため、完成が楽しみです。

白一中建設現場
を現地調査